

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	社会心理学 (Social Psychology)		
ナンバリングコード	E31003	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 応用レベル 心理学
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 年 / 後期
必修・選択区分	選択:経営経済学部 コース選択必修:情報メディア学科 情報コミュコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E035251	クラス名	-
担当教員名	山本 義史		
履修上の注意、 履修条件	遅刻、講義中の携帯電話の使用、おしゃべり、無断外室など、他の学生に迷惑のかかる行為は禁止です。大学生として最低限のマナーは守って履修してください。		
教科書	なし		
参考文献及び指定図書	社会心理学への招待 白樫三四郎(編著) ミネルヴァ書房 社会心理学―個人と集団の理解 吉田俊和・松原敏浩(編著) ナカニシヤ出版		
関連科目	コミュニケーション演習、発達心理学、臨床心理学		

○基本情報		
授業の目的	本講義を通して、「こころの力」「社会人基礎力」「職業能力」「専門能力」の4つの力が結集した「人間力」を育成をベースに、社会貢献や地域の活性化・福祉に必要な実践的な知識・技術を習得します。特に、専門的力量的育成として社会の中での人間を考えていきます。人間は「社会」で生活し、さまざまな人と関わっています。社会心理学はこのような人間のすべての行動を対象にしています。現代社会では、人間行動は多様化しており、個人の社会的行動だけでなく、集団や地域としての人間行動に関する知識と対処能力、基礎的な知識を応用して柔軟に対応することができる態度と技術の習得が求められます。ビジネス場面を例にあげると、さまざまな相手との交渉、かけひき、集団内・集団間での立場の認識が必要になります。こうした認識・態度・対応能力の育成を目標とします。	
授業の概要	講義に心理学実験や日常場面での思考実験を取り入れたものです。他者がいるから‘自己’を意識し、その意識の強さや性質は個人によって異なります。また、2者関係から家族、仲間、クラブ、学校、会社(組織)、地域などでの人々の考え方、行動の仕方の違い、集団の特性など、私たちは他者がいる環境で日常的に多くの現象と出会い、対応しています。それらの社会現象や人間関係の中で自分の行動を振り返ってみます。 本講義では、このような個人、集団、地域における人間の社会的行動を学習していきます。毎回ワークノートを用意します。それに記入しながらパワーポイントで解説を行っていきます。毎回次週のワークノートを配付しますので、ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。授業終了時に課題が出ますから、毎回ショートレポートを書いて提出します。提出方法は講義時に指示します。	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3)アクティブ・ラーニング	「PBL(課題解決型学習)」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	人間の相互作用と社会行動に関心をもち、自分の行動にひきつけて考えられる。		20点	
【知識・理解】	個人と社会の関係が考えられるようになり、社会心理学の知識を得て、日常生活の人間行動を説明できる。	40点		
【技能・表現・コミュニケーション】	日頃の社会的相互作用や社会生活における自分の行動傾向を表現したり、応用できる。		20点	
【思考・判断・創造】	学習した知識と思考・判断・創造性で、賢い社会生活を送ることに活かせる。		20点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
課題のショートレポートの論点・内容は、毎回の与えられた課題に応じて、授業中に学んだ心理学的成果や一般論を考察し、自分や身の回りの社会に引き寄せて問題解決をめざし、創造的に論じていれば、4点/1回(×15回＝60点)となります。そして、関心・意欲・態度、知識・理解、技能・表現・コミュニケーション、思考・判断・創造の観点から総合的に評価します。ショートレポートについては、次回以降の授業中に講評・解説または個別に、フィードバックを行います。評価方法は以下の通りです。 A(4点) 講義の内容をよく理解し、強い関心をもって自分の考えをしっかりと述べている。 B(3点) 講義の内容をよく理解し、振り返ることができる。 C(2点) 講義の内容をだいたい理解し、振り返ることができる。 D(1点) 講義の内容を一部理解し、振り返ることができる。

○その他

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科目名 担当教員	社会心理学（Social Psychology） 山本 義史	授業コード	E035251
学修内容					
1. 社会心理学とは何か 講義の進め方を説明し、社会心理学とはどのような領域を扱っているのかを話します。					
予習	ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。				約2時間
復習	社会心理学の目的（抽象的）およびその研究領域をまとめます。				約2時間
2. 自己 自己とは何か、そして自己概念や自己評価がどのように形成され、それが対人関係におよぼす影響を考えていきます。					
予習	ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。				約2時間
復習	自己を社会とのかかわりにおけるあなたに当てはまりそうな具体例について考えてみます。				約2時間
3. 社会的認知 人は他者や事象をどのように捉えていくのでしょうか。そこにかかわる人間の能力と思考の問題についてお話していきます。					
予習	ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。				約2時間
復習	社会的認知や社会的推論で過去あなたが実際行いがちであったものについて考えてみます。				約2時間
4. 態度 人の行動形成に影響を与える態度について、持続・変化などの側面を概説します。そこから人を動かす心理やセールスなどのテクニックといった身近な話題を考えてみましょう。					
予習	ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。				約2時間
復習	態度変容や説得的コミュニケーションのテクニックや認知的不協和理論の経験例について考えてみます。				約2時間
5. 対人魅力 なぜ人は他者を好きになるのでしょうか？ここでは好意が形成される原理について考えてみたいと思います。					
予習	ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。				約2時間
復習	どのような人に魅力を感じ、好意をもつかについて、社会心理学的理論は適合するかを考えてみます。				約2時間
6. 対人コミュニケーション 私たちの生活でコミュニケーションは欠かせないものですが、その構造や種類、さらにはメディアの問題などを考えていきます。					
予習	ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。				約2時間
復習	対人コミュニケーション上喜ばしかったことや楽しかったこと、逆に困ったことについて考えてみます。				約2時間
7. 社会的影響(1) 人の行動形成に影響を与えるものとして、他者などの存在があげられます。私たちがどのようにして他者から影響を受けるのか、またどのようにして他者に影響を与えることができるのか、そしてその効果などについてお話していきます。					
予習	ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。				約2時間
復習	同調について自分の経験から、当てはまる事例を考えてみます。				約2時間
8. 社会的影響(2) 人の行動形成に影響を与えるものとして、他者などの存在があげられます。私たちがどのようにして他者から影響を受けるのか、またどのようにして他者に影響を与えることができるのか、そしてその効果などについてお話していきます。					
予習	ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。				約2時間
復習	服従や社会的促進、社会的抑制、社会的手抜き、傍観者効果について当てまる事例を考えてみます。				約2時間

○授業計画		科 目 名	社会心理学（Social Psychology）	授業コード	E035251
		担当教員	山本 義史		
学修内容					
9. 人を助ける行動と人を傷つける行動					
私たちの行動のなかには人を助けるものと人を傷つけるものがあります。それぞれの行動形成と社会的影響について考えていきます。					
予習	ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。				約2時間
復習	援助行動、ソーシャル・サポート、対人的葛藤や攻撃行動ついて現在の自分の状況を考えてみます。				約2時間
10. 集団過程					
私たちが所属する集団には様々な大きさ、かたち、役割などがあります。それらがどのように形成され機能していくのか概説していきます。					
予習	ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。				約2時間
復習	集団過程にかかわる場合、どのような点に注意しようと思ったかについて考えてみます。				約2時間
11. パーソナリティと役割					
人のもつ性格について、人格心理とは違った立場から捉えていきます。					
予習	ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。				約2時間
復習	自己モニタリング尺度の結果を分析して自己呈示の仕方や自己表現の特徴について考えてみます。				約2時間
12. 環境					
私たちの生活する空間と、それが人に与える影響について考えていきます。					
予習	ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。				約2時間
復習	社会空間的行動または環境ストレスを振り返って考えてみます。				約2時間
13. 世論					
成人となった学生には選挙権があります。自分の行動が直接世論にも影響を与えていきます。その効果と投票行動に与える要素についてお話します。					
予習	ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。				約2時間
復習	世論において、あなたが過去に経験した事例に当たるものについて具体的に考えてみます。				約2時間
14. 文化					
人間の行動は、その社会の文化的要因とは不可分である。人間は、ある社会に生まれて、その社会の文化を摂取し言語や価値観や行動様式を学習していくという視点から人間を考えます。					
予習	ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。				約2時間
復習	文化や地球環境問題について、本日の学習も交えて、あなたが現在考えていることについてまとめます。				約2時間
15. 群集・流言					
群集と集団はどこが違うのでしょうか。また、デマや噂など人の心を惑わす言語的要素についてお話していきます。					
予習	ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。				約2時間
復習	群集行動や流言に巻き込まれてしまった場合に本日の学習との関連で、今後の対応についてまとめます。				約2時間
16. 期末試験					
授業中に学んだ内容を特に知識や理解の観点から確認する試験です。					
予習	期末試験に備えてワークノートを整理しておきます。				約2時間
復習	ありません。				約2時間